

「世界へ広がる日本文化」

～いけばなから Ikebana へ～

2025年1月9日(木) 第一支部研修終了報告



「世界へ広がる日本文化 ～いけばなから Ikebana へ～」が浅草文化センターにて13:30より16:10まで開催されました。過去3回のいけばな研修と同様、今回も草月流師範会理事でいらっしゃる平塚春子・JGA正会員を講師にお迎えし、二部構成で行われました。参加者は26名(JGA会員19名と非会員7名)、平塚講師の助手は、お弟子さんの村田里奈さんでした。

第一部では、平塚講師より、いけばなの起源や歴史的背景、フラワーアレンジメントとの違いなど、ガイドとして役に立つ知識を幅広く学びました。

いけばなが発展していく中で、そのスタイルがいつどのようにかわったのか、天・地・人の基本的な型とは何なのかなどを、平塚講師がプリント資料と大スクリーンに投影された数多くのスライドを使って、とても分かりやすく説明してくださいました。話題は、さらに、草月流の歴代の家元についてのエピソード、ご自身の海外での活動や作品、草月流の作品展の様子などにも発展しました。その時に見せてくださった、多くの貴重な写真から、いけばなの作品が実に多様である事、海外にもかなり浸透している事などを知ることができました。参加者は熱心に写真を撮ったりメモを取るなどしていました。

第二部では、平塚講師によるデモンストレーションの後、ランダムで選ばれた参加者3名によるいけばな体験がありました。

デモンストレーションでは平塚講師が4つの作品を完成させる様子を披露されました。英語圏のお客様の前でいける事を想定した場面もあり、英語で説明をしながら、(お客様がよく見えるように)講師が作品の背後から手際よくいける姿は圧巻でした。ネコヤナギを主枝として空間を菊の花で埋めるという、基本型を披露された後は、型にとらわれない自由花の作品となりました。数本のネコヤナギで表現されたのびやかな造形にガーベラを添えるという作品、少ない花材でシンプルに仕上げた一花一葉の作品、枯れた木と鮮やかな赤いケイトウを使ったダイナミックな作品、それぞれが異なる特徴と魅力を持ち、どれも素晴らしいものでした。



いけばな体験の参加者の作品は、どれもシンプルながらも美しい作品で、平塚講師はどの作品にも良いところをあげて褒めてくださいました。



最後の質疑応答の時間には、参加者からの様々な質問に対し、平塚講師が丁寧に答えてくださり、あっという間に終了時刻となりました。

以上

* 詳細はトラベルコンパニオン 4月号に掲載されますので是非楽しみに！

* Facebook もご覧ください。たくさんの写真を掲載しています。 <https://www.facebook.com/JGAGuide>